

日本の国立公園

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在31の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。

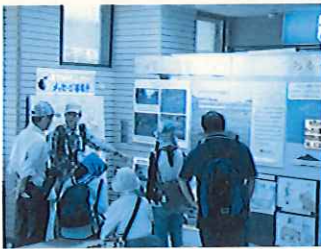
「知床国立公園」

昭和39年6月1日指定/面積60,986ha(海域22,353haを含む)/北海道
知床自然センター 公益財団法人 知床財団 山野秀尚さんよりご紹介いただきます

知床国立公園は、日本最北東端に位置する知床半島の一部とその周辺海域で構成されます。流氷が到来する北半球最南端の地域であるという特異性、流氷がもたらす海の恵みがサケ科魚類を通じて陸に運ばれる「海・山・川」の関係性、ヒグマやシマフクロウ、シレットコスミシなどの希少生物が生息する自然環境、自然保護活動の取り組みなどが評価され、平成17年7月、知床は世界自然遺産にも登録されました。

そんな知床は、雄大な自然景観や野生動物との出会いを求めてたくさんの人々が訪れる一大観光地でもあります。

知床自然センターでは、来館者の皆様にこの豊かな自然をより楽しく体験していただくために、自然情報や散策情報を分かりやすく丁寧にお伝えしております。また、知床の自然保全のよき理解者になっていただく



特別展示を紹介する
地元ガイドさん



知床自然センタースタッフ
による館内レクチャー

ために、知床で今起きている問題や、課題解決に向けた現場の取り組みについて、来館者の皆様に直接お伝えする活動にも力を入れております。「人とヒグマがうまくやっていく道はあるはずだ」というタイトルでヒトとヒグマの共存を問う館内特別展示は必見、スタッフによる面白くてタメになるレクチャーは必聴ですよ。



こ
こ
で
す!



年間約40万人が訪れる知床五湖
(国内2例目となる利用調整地区運用地)

ようこそ! ビジターセンターへ

裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

にぎやかな夏休みが終わりました!

7月、8月と夏は一気に通り過ぎていきました。

今年は、土日に台風がやってくるなど、人の動きが鈍いかと心配もありましたが、ビジターセンターには、多くの方が来館してくださいました。

毎年恒例となりました二つのイベント「夏休みプログラム」と「夏の講演会」も多くの方にご参加頂き、とても楽しいものとなりました。

夏休みプログラムでは、おなじみとなっている「これな〜に?」などに加え、ウチダザリガニ(特定外来生物)に関するプログラムや工作プログラムなど、例年以上に賑やかな企画となりました。

講演会は、足立区生物園解説員 井原沙緒里さんをお招きし、両生類爬虫類の面白さや不思議をお話いただきました。スライドを使ったお話の他、本物のカエルを触ったり見たり、中でもヒキガエルの鳴き声には皆さん驚かれた様子でした!!

今後も、様々なプログラムを行いますので、ぜひ、ご参加ください!!

